

## 豪 雪 対 策

### 松沢川地区（湯沢市）消流雪用水の「試験運転」を開始します！

湯沢河川国道事務所では、平成 19 年度より湯沢市内において、消流雪用水導入事業を進めています。

湯沢市は日本有数の豪雪地帯に指定されており、冬期の積雪により、家屋・宅地の除排雪作業、道路交通の阻害、市内を流れる中小河川の閉塞などにより、市民の生活に大きな支障を来しております。

このため、雄物川から取水した河川水を市街地を流れる中小河川に消流雪用水として供給し、松沢川等の閉塞を防止して市内の除排雪がスムーズに行くよう市民生活をサポートするものです（別添、「参考資料」参照）。

今冬も豪雪に見舞われており、最深積雪は 2 月 12 日に 137 cm を記録しています。今後も降雪と低温が見込まれることから、松沢川の閉塞防止対策、ひいては沿川の豪雪対策として消流雪用水を試験運転することとしました。

松沢川地区の消流雪用水導水施設は 12 月に概成し、現在までに度々、試験運用を実施して来ましたが、沿川住民の松沢川の利用時間帯等（排雪作業）を踏まえ、今後、以下の時間帯でポンプの試験運転を実施するものです。

#### 記

1. 運転開始日 平成 24 年 2 月 17 日

2. 運転時間

月曜日	13:15～15:45
火曜日	13:15～15:45
水曜日	9:15～13:15
木曜日	9:15～13:15
金曜日	12:00～13:30
土曜日	8:45～12:45
日曜日	12:30～15:30

※ 運転時間は、天候・降積雪の状況により変更する場合があります。  
また、運転日は 3 月中旬までを予定しています。

3. 場 所 松沢川地区取水施設 建屋内（秋田県湯沢市西愛宕町 202-1）

4. 内 容 松沢川への消流雪用水の導水（ポンプ運転）

発表記者會 秋田県政記者會、横手記者會、秋田魁新報社湯沢支局・大曲支局

問い合わせ先

【国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所】

秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2

電話 0183-73-3174 (代表) 工務第一課長 堀井 寿

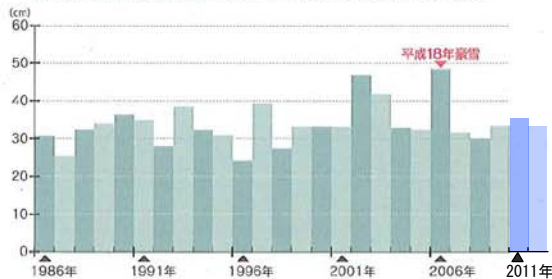
【湯沢市役所】

秋田県湯沢市佐竹町1番1号

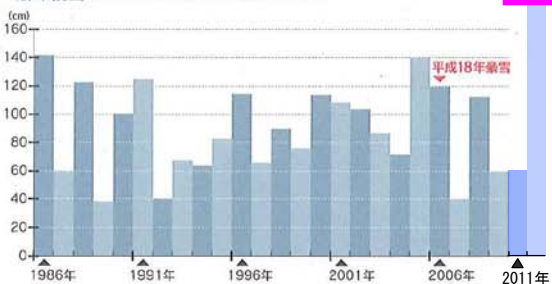
電話 0183-73-2111 (代表) 建設課長 藤谷 一

## 湯沢市の雪データ

一日に降った雪の最大量 (平成18年豪雪のときには、1日50cmもの雪が降りました)



最深積雪 (多いときには1mを超える雪が積もっています)



各年は、当該年1月以降に加え、前年の深り始めからの期間を含めた冬期1シーズンを示す  
資料:気象庁ホームページ メメダス観測 湯沢

2012年  
175cm

### 直轄消流雪用水導入事業 (国土交通省)

我が国は、国土の50%以上を豪雪地帯が占めており、冬期に安全で快適な生活を営むため、消流雪施設等の整備に期待が高まっています。

本事業では、国が主体となって、水量の豊富な河川から市街地を流れる中小河川等に消流雪用水を供給するため導水路等の整備を行っています。

### 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

〒012-0862 秋田県湯沢市関口字上寺沢64番地2号  
TEL.0183-73-3174(代表)

<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>



### 犬っこまつり

(秋田県南を代表する雪まつり。毎年2月第2土曜日とその翌日に開催)

地域協働で効率的な除排雪を実現

安全で  
ゆとりある  
雪国暮らし

雄物川上流湯沢地区 消流雪用水導入事業

流雪溝はあるけれど…水が足りない。

# 湯沢市冬期の現状

湯沢市は、秋田県内陸南部に位置し、東側は標高1,000～2,000m級の山々が連なる奥羽山脈と西側は出羽丘陵に挟まれたところに位置し、冬期には最深積雪が1mを超える豪雪地帯です。

昭和57年より大雪対策として、市内中心部では流雪溝の面的な整備が進められ除排雪が可能となりましたが、依然として水量は十分とは言えず、市内を流れる松沢川や鉦打沢川の水不足が著しく、排雪された雪による河道の閉塞を引き起こしています。この、河道の閉塞により、流入する流雪溝も閉塞し、道路が冠水する被害も発生しています。

また、宅地開発に伴う新たな流雪溝整備や、ライフスタイルの変化に伴う、さらなる流雪溝の整備、既存流雪溝通水時間の延長など、新たなニーズへの対応が求められています。

この水不足による河道閉塞及び新たなニーズに対応するため、水量の豊富な雄物川から市内を流れる松沢川、鉦打沢川へ導水を行います。



流雪溝の閉塞により冠水する市内の道路



流雪溝への排雪ができず復旧を待つ住民



水不足で閉鎖した松沢川



排雪により閉塞した松沢川の復旧状況



水不足で閉塞した湯沢大堰水路



排雪により閉塞した鉦打沢川の復旧状況

# 事業の効果

路側堆積で危険な通学路



これまで

水量が少なく、雪がスムーズに流れず各地で問題が発生。



水量が豊富となり、排雪がスムーズになり、冬の間も快適になります。

事業後は

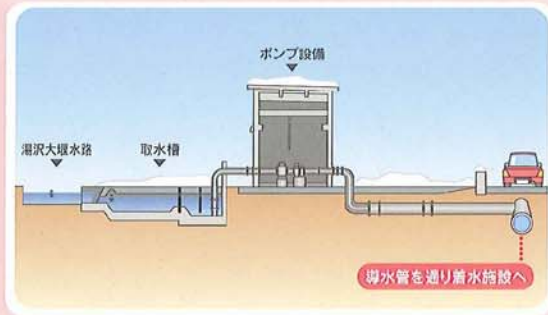


# 設備概要

1

## 取水施設

湯沢大堰水路から取水するための設備。松沢川と鉦打沢川の2箇所に整備します。



2

## 導水路

取水施設から、松沢川と鉦打沢川の上流に送水するための管で、道路の下等に埋設します。

3

## 着水施設

導水路を流れて来た水を、松沢川と鉦打沢川に安全に流すための設備で、松沢川と鉦打沢川の2箇所に整備します。



地域の協働で安全でゆとりある冬を実現

# 消流雪用水導入

地域が協働し、湯沢市街に雄物川の河川水を供給することにより、松沢川や鉦打沢川などの排雪はスムーズになります。

また、河川水を利用することで、地下水利用などで懸念される地盤沈下なども避けることができます。

湯沢大堰水路を利用し、雄物川から取水した河川水を湯沢市街地に供給

湯沢市には、先人達が築造した湯沢大堰水路があり、これを活用することで、湯沢市街への効率的な導水を実現します。



## 湯沢大堰 (ゆざわおおせき)

湯沢大堰は、延長約6kmのかんがい水路です。慶長18年(1613年)に開削されたと言われ、現在に至るまで、湯沢市街地西部、弁天、杉沢などの水田を潤してきました。また、かんがい水路としてのみならず、昔から「防火用水」「生活用水」等としても活用されてきました。



湯沢大堰 (享享13年(1728年)) (湯沢松園)湯沢市指定文化財(個人所有)

# 消流雪用水導入事業で 安全で快適な生活を

上流湯沢地区

概要



工事中

約0.5m<sup>3</sup>/s

工事中

着水施設



着水施設

約0.8m<sup>3</sup>/s



工事中 (ホンプ設備)



## 計画概要

除排雪村面積：約800ha  
対象人口：約15,000人  
対象世帯：約5,000世帯  
河川雪融水のための取水量  
(松沢川：0.8m<sup>3</sup>/s、鉦打沢川：0.5m<sup>3</sup>/s)

## 施設概要

【松沢川地区】

取水施設：1箇所  
導水路：約1,000m  
着水施設：1箇所  
導入河川：1級河川松沢川

【鉦打沢川地区】

取水施設：1箇所  
導水路：約1,100m  
着水施設：1箇所  
導入河川：1級河川鉦打沢川(白子川)

事業工程：平成19～24年